

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、和地圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年10月24日（火）13時30分から15時00分まで
参加者	委員：17人 事務局：4人 その他：6人（高齢者福祉課：1人、協働センターコミュニティ担当職員1人、長寿保険課1人、包括2人、市社協地域支援課1人）
場所	庄内協働センター
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>①地域資源マップについて（配布方法）</p> <p>地域資源マップの修正箇所と作成時期、配布方法など最終確認を行う。</p> <p>3. 各地区活動状況報告（家事支援の活動について）</p> <p>和地地区、伊佐見地区、庄内地区の委員から家事支援の活動について報告していただく。</p> <p>4. 意見交換（地区別）</p> <p>テーマ「家事支援について」 ～家事支援からみえる課題について～</p> <p>【グループワークの意見】</p> <p>【和地地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会未加入の方は、福祉の問題が地域であるか？ ・市営住宅では4階の方の依頼が多い。 →足腰が弱くて、依頼を受けることが多い。 ・市営住宅で買い物は少ない。 ・草刈り36袋は、限度を超えているため今後判断が必要である。 ・元気会（昔、湖東団地であった団地）は再復活している。団地支部が発足し、団地内の問題は団地の人で助け合うようになる。 ・依頼者は、7～10人程度である。若い方もいるし、障がいがある方もいる。 ・支援員が増えていない。今後の課題である。 ・家事支援部会に、今後民生委員も出席すると思う。 <p>【伊佐見地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事支援は情報発信不足が課題である。 ・施設に入ったり、亡くなったりすると件数が大幅に減るため、数字の比較はしてはいけないと思う。 ・部会の中で検討したことをPRするとよい。 ・ゴミ出しの依頼は、団地の人が多い。 ・老老支援となっている。 ・中学生のゴミ出しボランティアがあることを知った。

- ・都合が悪いと思っけていても、無理をしてゴミ出しをしている。
- ・本当にゴミ出しが必要な人なのか？本当は話し相手がほしい人なのでは？
- ・子供が家族を施設に入れたくても、近所の人が面倒をみてくれているから在宅でという人もいる。
- ・ご近所が大事である。

【庄内地区】

- ・倉庫の片付けをするのに、重いものをおろしてほしいという力仕事の依頼も多い。どこまで家事支援としてやるのか。業者に頼んでもいいと思うものもある。
- ・包括から依頼が入ることもある。
- ・ゴミ出しは多い。その町のボランティアにやっていたいでいる。
- ・庄内は家事支援の担当者がいない。
- ・動けない方はゴミを運ぶことができない。集積場から距離があってゴミ捨てができないという相談が、ケアマネからあった。
- ・草取りが大変である。手で抜いてほしいと言ってきた方もいたが、草刈り機でやらせてもらった。除草剤をまくほうがよっぽど早い。全部やろうとすると大変で、「業者に頼んで」となる。
- ・草取りを、見た目をきれいにするためにはやらない。生活に困るところのみをやるという団体もある。
- ・買い物は、好みがある。お味噌にしても種類、大きさ等聞かないといけない。庄内地区はスーパーがない。
- ・遠鉄の移動スーパーは個人宅の近くまで来てくれる。杏林堂は集会所などに来る。
- ・移動スーパーが利益追求して、来なくなったら困る人がたくさんいると思う。
- ・独居高齢者は、話し相手でつかまる。
- ・ゴミ出し以外は継続性がない。

5. 情報提供

①地域包括支援センター活動報告

地域包括支援センター和地より活動報告をしていただく。

6. 連絡事項

①次回会議開催予定

日時：令和6年2月29日（木）13：30～

会場：和地協働センター

7. 閉会

今後の見通し等	<ul style="list-style-type: none">・地域資源マップについては、印刷をし、地域へ配布できるように進めていく。・今回地区別に意見交換をし、家事支援についての課題などを委員、関係者間で情報交換、情報共有することができた。今後、意見交換で出た意見も含め協議内容を検討していく。
---------	--